

## 国際航空連盟（FAI）表彰候補者選考規定

制定 平成9年12月12日

### 第1条（目的）

日本航空協会表彰規定第8条2による国航空連盟表彰の候補者選考については、すべてこの規定によるものとする。

### 第2条（種類）

賞の種類、性格並びにその取り扱いは、以下のとおりとする。

#### 1 ポールティサンディエ賞

航空スポーツに貢献した個人に授与されるもので、日本の航空スポーツ界における最高の賞とする。

本賞における貢献とは、長年にわたり、航空スポーツ発展のために献身的努力を傾注し、団体組織で指導的役割を果たし、その業績が顕著であること。

#### 2 エア・スポーツ・メダル

航空スポーツに貢献した個人又は団体に授与されるもので、ポールティサンディエ賞に次ぐ日本の航空スポーツ界の荣誉ある賞とする。

本賞における貢献とは、長年にわたり、航空スポーツ発展のために縁の下での力持ちとしてのぎょうせきが顕著であることで、例えば長年にわたり、多くのグライダーのグランドサートを努めてきたとか、あるいは多くのパラシュートジャンパーのためにトランスポーターの役を担当してきた等、それぞれの立場で長年地道に積み上げてきた仕事が他の範とするに値すること。

#### 3 オリラリーグループディプロマ

航空スポーツ関係団体にトドマズ関連研究機関、関連報道機関などがその事業活動によって長期にわたって、多くの人々に航空、宇宙飛行への関心を高め、又は多くの人々に航空、宇宙飛行に関する性格な知識の普及に寄与したグループに授与されるものである。

#### 4 種目べつメダル・ディプロマ

候補者は、それぞれの航空スポーツ種目を担当するFAI委員会の総会で審議される。したがって、当事務局では推薦の妥当性のみを審議し、FAIに推薦する。

### 第3条（選考委員会）

候補者選考のため表彰委員会に「国際航空連盟表彰候補者選考委員会」（以下選考委員会と称する）を設ける。

- 2 選考委員の構成は、次のとおりとし、財日本航空協会会長が委嘱する。委員の数は、財日本航空協会委員を含めて10名以内とする。委員の任期は、3年とし、再任を妨げない。補欠委員のニンキ、前任者の前任期間とする。

#### 1 航空スポーツ界

#### 2 航空スポーツ関係学識経験者（ジャーナリスト、学者・文化人）

#### 3 財日本航空協会（財日本航空協会副会長（航空スポーツ担当）、事務局長、航空業務室長）

- 3 選考委員会の長は、委員の互選により選出され、委員会の議長となる。

- 4 選考委員会の職務は、候補者の選考とする。

- 5 選考委員会の庶務をおこなうため、協会、航空業務室に選考委員会事務局を置く。事務局の長は、航空業務室長とする。

- 6 選考委員会事務局長の職務は次のとおりとする。

#### 1 選考委員会の招集（開催日の一週間前までに通知する）

#### 2 候補者の推薦依頼並びに取りまとめ

#### 3 議事録の買うせい並びに保管

#### 4 選考結果の表彰委員会への報告

#### 第4条（推薦）

候補者の候補は、つぎの人達によるものとする。

- 1 各航空スポーツ統括団体の長並びに各スポーツ航空クラブの長
- 2 選考委員会委員
- 3 選考委員会事務局長

2 推薦の手続きについては、別に定める様式によるものとする。

#### 第5条（選考基準）

選考基準は、以下のとおりとする。

- 1 ポールティサンディエ賞  
組織活動・指導育成・選手活動・施設並びにきざいんお開発等について原則として30年以上にわたって従事し、指導的立場で航空スポーツの振興に寄与した者の中から選考する。
- 2 エア・スポーツ・メダル  
組織活動・指導育成・選手活動・施設並びに機材の開発等についえ原則として30年以上にわたって従事し、縁の下の力持ちとして航空スポーツの振興に寄与した者の中から選考する。
- 3 オノラリーグループディプロ  
研究、報道、出版、教育等の事業及び活動を原則として15年以上にわたって継続し、多くの人々に航空、宇宙飛行への関心を高揚、又は多くの人々に航空、宇宙飛行に関する性格な知識の普及に寄与した団体の中から選考する。

#### 第6条（報告）

選考結果については、表彰委員会へ報告する。

#### 第7条（疑義）

第2条、第5条に疑義が生じた場合には、選考委員会事務局長は、国際航空連盟と合議のうえ、裁定するものとする。

#### 第8条（規定の改廃）

この規定の改廃は、表彰委員会の承認を得て行う。

#### 附 則

この規定は、平成9年12月12日から実施する。

FAI AWARDS  
FOR  
INDIVIDUAL DISCIPLINES

1 アワードの種類

AWARDS FOR

- 1 BALLOONING (BY LAWS 12.2)
- 2 GENERAL AVIATION (BY LAWS 12.3)
- 3 GLIDING (BY LAWS 12.4)
- 4 ROTORCRAFT (BY LAWS 12.5)
- 5 PARACHUTING (BY LAWS 12.6)
- 6 AEROMODELLING (BY LAWS 12.7)
- 7 AEROBATICS (BY LAWS 12.8)
- 8 ASTRONAUTICS (BY LAWS 12.9)
- 9 HANG - GLIDING (BY LAWS 12.10)
- 10 MICROLIGHT AVIATION (BY LAWS 12.11)
- 11 AEROSPACE EDUCATION (BY LAWS 12.12)
- 12 AMATEUR - BUILT AIRCRAFT (BY LAWS 12.13)

2 設定経緯及び授与資格等

別紙の BY LAWS 条文参照による。

3 提出期限

FAIメンバーが、各担当FAI国際エア・スポーツ委員会開催の2カ月前までにFAI事務局に提出する。主なエア・スポーツ委員会の例年の開催月は、以下のとおりである。

- 1 ジェネラル・エイビエーション・・・・・・・・・・会議 11月(提出 9月)
- 2 マイクロライト・・・・・・・・・・・・・・・・・・会議 11月(提出 9月)
- 3 パラシューティング・・・・・・・・・・・・・・・・・・会議 1月(提出前年11月)
- 4 バルーンング, グライディング及びハング・  
グライディング・・・・・・・・・・・・・・・・・・会議 3月(提出 1月)
- 5 エアロモデリング・・・・・・・・・・・・・・・・・・会議 3月  
(提出期限は毎年11月15日)
- 6 アマチュア・ビルト・エアクラフト・・・・・・・・・・会議 4月(提出前年 2月)

4 審査, 推薦及び授与決定

各担当FAI国際エア・スポーツ委員会のプレナリィ・ミーティング(全体会議)で厳正な審査がおこなわれたうえで推薦が決定し, FAI評議会で授与が決定する。

FAI AWARDS  
FOR  
BALLOONING  
FAI 担当委員会：国際気球委員会（CIA）

1 MONTGOLFIER BALLOONING DIPLOMAS  
(BY LAWS 12.2.1)

設定の経緯：このディプロマは、1783年世界で初めて人間が乗る飛行機械、熱気球を作って成功したジョセフ及びエティエンヌ・モンゴルフィエに因んで、FAIが1960年に設定した。

授与資格、頻度及び個数：次の4賞があり、毎年これらに該当するものが1名ずつ授与される。

- \* 前モンゴルフィエ年において、ガス・バルーンで最高のパフォーマンスを出したこと。
- \* 前モンゴルフィエ年において、熱気球で最高のパフォーマンスを出したこと。
- \* 前モンゴルフィエ年において、ロジュール・バルーンで最高のパフォーマンスを出したこと。
- \* バルーン一般の発展に多大な貢献をしたこと。
- \*

注1：モンゴルフィエ年は、11月21日（UTC）に始まり、11月20日（UTC）に終わる。

注2：候補者は、いずれも推薦するメンバー国の国民又は居住者であること。候補者は、個人でもチームでもよい。パフォーマンスのアワード候補者の場合、そのチームはPICの他にクルーがいたこと、然るに、そのうち少なくとも一人は推薦するメンバー国の国民又は居住者であること。チームが複数の異なる国籍のクルーの場合、その推薦するメンバー国は、関連するメンバー国に対し、書面で承認を得ること。

2 SANTOS - DUMONT GOLD AIRSHIP MEDAL  
(BY LAWS 12.2.2)

設定の経緯：このメダルは、アルベルト・サントス・デュモンが、1901年10月19日パリのエッフェル塔の回りを飛び、そのためドイッテュ・プライズを獲得したと言う歴史に残るフライトを行い、エア・シップ・スポーツの発展に多大な貢献を行った、という栄誉を称え、1994年に設定された。

授与資格、頻度及び個数：このメダルは、次の業績が認められる場合、毎年1個が授与される。

- \* 前モンゴルフィエ年にエア・シップにおいて最高のパフォーマンスを出した。

又は

- \* エア・シップ飛行一般の発展に多大な貢献をしたこと。

注：このメダルは顕著なパフォーマンスを幾つも続けて出した場合にも授与される。

FAI AWARDS  
FOR  
GENERAL AVIATION

FAI担当委員会：国際ジェネラル・エイビエーション委員会（CIAG）

1 CHARLES LINDBIRGH  
GENERAL AVIATION DIPLOMA

設定の経緯：このディプロマは、CIAGの提案により、1983年FAIにより設定された。

授与資格：リンドバーク・ディプロマは、毎年次の者に授与される。

- \* エア・スポーツ又はエアトランスポートのいずれかにおいて、或いはジェネラル・エイビエーションに関する国際組織の業務において、ジェネラル・エイビエーションの発展に10年以上の長きに渡り多大な貢献をして来た個人又は組織

又は

- \* ジェネラル・エイビエーションの分野において、その発展を助長し、運行効率及び飛行安全に通ずる新しいコンセプト及び機材の調査開発を促すような技術躍進が認められる場合。

授与頻度及び個数：毎年1個

FAI AWARDS  
FOR  
GLIDING

FAI担当委員会：国際グライディング委員会（CIVV）

1 LILIENTHAL GLIDING MEDAL

（BY LAWS 12.4.1）

設定の経緯：このメダルは、かの有名なグライダー・パイオニア、オットー・リリエ  
ンタールに因んで1938年FAIにより設定された。

授与資格：このアワードは、以下にあげるような、得に顕著なグライディングパフ  
ォーマンスを出したとか又はグライディングに対するサービスが卓越してい  
た、現役のグライダー・パイロットに授与される。

\* 世界記録を昨年樹立した

又は

\* パイオニア・フライト（グライディング或いはグライディング技術に対し  
て新しい可能性を切り開いたフライトと定義する）を行った。

又は

\* 長年に渡り、グライディングに対する卓越したサービスを提供した。

授与頻度及び個数：毎年1個

2 PELAGIA MAJESKA GLIDING MEDAL

（BY LAWS 12.4.2）

設定の経緯：このメダルは、ポーランド・エアロ・クラブの提案により、ペラージャ  
マジョーフスカ婦人を記念して、1989年FAIにより設定された。彼女は、  
1960年リリエンタール・メダルが授与され、グライダーに関する17個の  
世界記録を保持し、1988年航空自己で命を失った著名なポーランドの女性  
グライダー・パイロットである。このメダルは、ポーランド・エアロ・クラブ  
によりFAIに提供されるものである。

授与資格：このメダルは、毎年次の功績のあった女性パイロットに授与サレル。

\* 前年度注グライディングにおいて特に顕著なパフォーマンスを出した

又は

\* 長年に渡り、グライディングに対する著しいサービスを提供してきた。

授与頻度及び個数：毎年1個

FAI AWARDS  
FOR  
PARACHUTING

FAI担当委員会：国際パラシューティング委員会（CIP）

1 FAI GOLD PARACHUTING MEDAL

設定の経緯：このメダルは、1968年2月FAIにより設定された。メダルの費用は、CIPの名誉会長であるジェイ・エイ・エステル氏が寄贈したUS \$10,000の資金から歳出される。

授与資格：このメダルは、毎年パラシューティングに関する顕著な業績があった場合に授与される。顕著な業績とは、パラシューティングの実施に関する業績、安全性向上に関する業績、或いはCIPが認める創意工夫に関する業績をいう。

授与頻度及び個数：毎年1個

2 LEONARDO DA VINCI PARACHUTING DIPLOMA

設定の経緯：このディプロマは、1970年FAIにより設定された。

授与資格：このディプロマは、以下にあげる業績のあった男性又は女性パラシューティストいずれか1名に毎年授与される。

\* パラシューティング・ナショナル・チャンピオン（日本選手権者）のタイトルを少なくとも3回続けて獲得したこと

又は

\* アブソリュート・パラシューティング・チャンピオン（絶対選手権者）のタイトルを少なくとも1回、そして国際パラシューティング競技においてコンパインド（総合）・チャンピオンのタイトルを少なくとも2回獲得したこと。

又は

\* 国際競技において、少なくとも2回、そしてパラシューティング世界選手権において、少なくとも、1回チーフ・ジャッジの任務を無事果たしたこと。

又は

\* パラシューティング世界選手権において、国際ジャッジの役を少なくとも続けて3回果たしたこと。

又は

\* パラシューティング国際競技会で競技委員長の任務を少なくとも2回そしてパラシューティング世界選手権で競技委員長の任務を少なくとも1回果たしたこと。

又は

\* CIPの名誉会長に氏名されたこと、或いはCIPナショナル・デレゲート（日本代表）として少なくとも10年続けて従事し、現在もなお、従事していること。

授与頻度及び個数：毎年1つだけ

FAI AWARDS  
FOR  
AEROMODELLING

FAI 担当委員会：国際エアロモデリング委員会 (CIAM)

1 FAI AEROMODELLING GOLD MEDAL

(BY LAW 12.7.1)

設定の経緯：このメダルは、1987年に設定された。

授与資格：組織活動において顕著な功績のあったFAIメンバーのエアロモデラーに毎年授与される。候補者は、次の要件をみたしていなければならない。

\* 世界又はヨーロッパ選手権において、競技委員長又はそれに準ずる任務を少なくとも2回果たしたこと。

又は

\* 世界又はヨーロッパ選手権において、FAIジュリー・メンバーの任務を少なくとも3回果たしたこと

又は、

\* 世界又はコンティネンタル選手において、ジャッジ又はそれに準ずる任務を少なくとも5回果たしたこと

又は

\* FAI/CIAMへのデレゲームとして任務又はFAIにおけるその他の任務を少なくとも3年以上果たしたこと

又は

\* 組織活動により、エアロモデリングの発展に顕著な功績があったこと。

授与頻度及び個数：毎年1回

2 ANDREI TUPOLEV AEROMODELLONG MEDAL

(BY LAW 12.7.2)

設定の経緯：このメダルは、1989年設定された。

授与資格：同一年に同一モデル・クラスの世界及びナショナル(日本)選手権に優勝したエアロモデラーに授与される。

授与頻度及び個数：毎年1個まで

3 ALPHONSE PENAUD AEROMODELLING DIPLOMA

(BY LAW 12.7.3)

設定の経緯：このディプロマは、1979年FAIにより設定され、1980年改定された。

授与資格：このディプロマは、次の業績のあったFAIメンバーのエアロモデラーに授与される。

\* ナショナル(日本)選手権者のタイトルを少なくとも3回続けて獲得したこと。

又は

\* 世界選手権者のタイトルを少なくとも1回獲得した。

又は

\* 少なくとも3つの世界記録を樹立したこと。

又は

\* その他のエアロモデリングに係わる業績が顕著なこと。

授与頻度及び個数：毎年1個

4 ANTONOV AEROMODELLING DIPLOMA

(BY LAW 12.7.4)



設定の経緯：このディプロマは、1989年に設定され、毎年ロシアのNACよりFAIに寄贈される。

授与資格：このディプロマは、エアロモデリングにおいて顕著な技術革新が認められ、別の技術革新で顕著と認められれば何回でも授与可能である。

授与頻度及び個数：毎年1個

5 ANDREI TUPOLEV AEROMODELLING DIPLOMA  
(BY LAW 12.7.5)

設定の経緯：このディプロマは、1989年に設定され、毎年ロシアのNACよりFAIに寄贈される。

授与資格：このディプロマは、毎年エアロモデリングにおいて顕著なレコード・パフォーマンスを出したFAIマンバのエアロモデラーに授与される。

授与頻度及び個数：毎年1個

FAI AWARDS  
FOR  
HANG-GLIDING

FAI担当委員会：国際ハング・グライダー委員会（CIVL）

1 PEPE LOPES HANG - GLIDING MEDAL  
(BY LAW 12.10.1)

設定の経緯：このメダルは、1981年ハング・グライダーの世界・チャンピオンとなったブラジルの”ペペ・ロペス”を記念して1933年2月に設定された。ペペの活動力と好気質が、国際競技の中心的存在として、ブラジル・チームを盛り上げる上で大きな役割を果たした。ペペは、1991年日本で開催されたハング・グライダーの競技中死亡した。メダルは、CIVLで用意される。

授与資格：このメダルは、ハング・グライダー・スポーツにおいて、スポーツマンシップ又は国際協調に多大な貢献が認められた場合に授与される。このメダルは、行動又はサービスが真に顕著であると認められた場合にのみ授与されるものであり、必ずしも毎年授与されるものではない。

授与頻度及び個数：毎年1個まで。

2 FAI HANG GLIDING DIPLOMA  
(BY LAW 12.10.2)

設定の経緯：このディプロマは、1979年FAIにより設定された。

授与資格：このディプロマは、フライトの実施面でイニシアティブをとったとか、働きかけがあったとか、リーダーシップをとったとかにより、ハング・グライダーの発展に顕著な貢献があったと認められる個人に授与される。

授与頻度及び個数：毎年1個

FAI AWARDS  
FOR  
MICROLIGHT AVIATION

FAI担当委員会：国際マイクロライト・エアクラフト委員会（CIMA）

1 COLIBRI DIPLOMA  
(BY LAW 12.11.1)

設定の経緯：このディプロマは、CIMAの提案により、1983年FAIが設定した。

授与資格：このディプロマは、毎年マイクロライト・エイビエーションの発展に多大な貢献をした個人に授与される。

授与頻度及び個数：毎年1個

2 HENRI MIGNET DIPLOMA

設定の経緯：このディプロマは、CIAACAの提案により1984年FAIにより設定された。

授与資格：このディプロマは、以下にあげる一つ又はそれ以上の特徴を有する新しいデザインの航空機を開発制作したアマチュア・エアクラフト・ビルダーに授与される。

- \* クルージング・スピードにおいて、パフォーマンスが抜群で燃料消費が低いこと。
- \* ノイズ・レベルが低いこと。
- \* 取り扱いが特に安全なこと。

提案に特筆すべき改善内容が認められ、次のアイデアが盛り込まれていること。

- \* ノン・エイビエーション・エンジン
- \* 新しい駆動システム又はプロペラー
- \* 代替燃料
- \* 航空機をより艱難により効率的に飛ばす新しい空気力学的形状又はその他のデザイン形態
- \* 新しい構造タイプ及び大幅な重量軽減を可能にしている材料
- \* その他、ノイズ軽減等の技術革新が認められること

授与頻度及び個数：毎年1個

提案に含める内容

- \* 航空機の名称
- \* その航空機の開発の経緯
- \* 設計者及び制作者の名前
- \* その航空機のパフォーマンス
- \* 三面図一式及び色々な角度からとったカラー写真少なくとも3葉

FAI AWARDS  
FOR  
AMATEUR-BUILT AIRCRAFT

FAI担当委員会：国際アマチュア・ビルト・エアクラフト委員会（CIACA）

1 PHOENIX DIPLOMA AND GROUP DIPLOMAS

設定の経緯：ホェニックス・ディプロマは、1978年に、又ホェニックス・グループ・ディプロマは、1990年にFAIにより設定された。

授与資格：ヴィンテージ・エアクラフト（製造後30年以上経過した航空機）のリコンストラクション（普及修理）又はリストレイション（原型模造）が優秀であった場合に授与される。アマチュア個人が制作した場合は、ホェニックス・ディプロマが、又グループ（グループの規模又は種類を問わない、例えば、博物館、後援した団体、学会、会社等）が制作した場合は、ホェニックス・グループディプロマが授与される。

授与頻度及び個数：何かのディプロマも毎年1個

推薦基準：推薦する場合、以下の項目の内容のものが明記又は添付されていること。

- \* 航空機の名称
- \* 航空機の歴史（その航空機にある種の歴史的価値があることが望ましい）
- \* リコンストラクション又はリストレイションに携わった個人又はグループの名前
- \* 原航空機の製造番号  
（上記の内容は1ページに記載されていること）
- \* カラー写真及び白黒写真少なくとも各1葉、サイズは最小：18cm \* 24cm  
何れの写真もネガが必要
- \* 三面図1枚

CIACAが審査の対照とする内容

- \* 航空機の経年数：オリジナル・プロトタイプ製造後少なくとも30年経過していること。
- \* 現物への忠実性：アマチュア・ビルト・エアクラフトは、できるだけオリジナルに忠実であること。

## FAIアワード(メダル・ディプロマ)の推薦書

年 月 日

アワードの名称	推薦年	
ローマ字	生年月日	
氏 名	大正・昭和	年月日生
団体名	(西暦	年)
住所〒	TEL:	
	FAX:	
勤務先(名称)	TEL:	
〒	FAX:	
経歴〔以下の5項目それぞれについて時系列的に記載する。〕 1. 団体・組織における活動(役職名と活動期間) 2. エア・スポーツ競技会における活動(競技解明と役職) 3. 教官・審査員・安全担当者等としての活動 4. FAIの委員会の役職と在職期間 5. 授賞歴(メダル・ディプロマ等)		

推薦記述

航空スポーツを始めた動機，現在にいたるまでのかつどう，成績，功績及び推薦の対象となった活動の詳細。  
( 具体的にご記入ください。 )

A large rectangular area containing horizontal dashed lines, intended for writing the recommendation description.

推薦者名 \_\_\_\_\_ 印